

西 区を豊かに

第22号

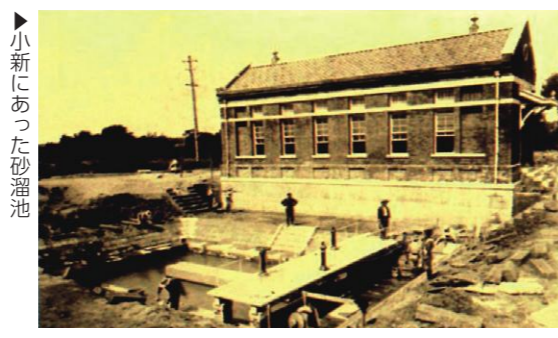
発行者 新潟市西区自治協議会
会長 岩脇 正之
事務局 〒950-2097
 新潟市西区寺尾東3丁目14番41号 西区地域課内
 TEL: 025-264-7161 FAX: 025-269-1650
 E-mail: chiiki.w@city.niigata.lg.jp

西区の宝物をたくさん詰め込んだロゴマークです。新潟スイカ、赤塚大根、くろさき茶豆、佐潟の白鳥。その上に日本海に沈む夕日と大学を表す博士帽を乗せました。

知っからなっご 街のタネ

市上水道工事発祥は西区

災害時等、第一に復旧が望まれるのが上水道。
 新潟市の上水道通水の最初は、明治43年です。これには西区が大きな役目を果たしていました。
 まず寺地に取水塔を造り、信濃川から取水管で引き入れた水を小新の砂溜池に導き、大きな砂を取り除いた後、関屋浄水所に送水しました。ここで諸々の処理をして高台の南山配水所へ。
 そこから土地の高低差を利用して市内の一部に給水を始めました。最初の年の給水希望は、2,126戸でしたが、翌年には倍増したそうです。
 上水道通水により、人々を困らせていたコレラや腸チフスの伝染病が激減したと言われています。
 大正12年に新潟市に合併した沼垂からも給水要望が高まり、当時木製だった萬代橋に送水管を取り付ける難工事を経て、沼垂への送水も始まりました。
 そんなこともあって給水能力が不足し、昭和6年に青山浄水所が造成されました。ちなみに坂井輪・内野あたりは、昭和30年から38年の第3回事業拡張工事によって給水が可能となりました。
 昭和44年に現在の信濃川取水場が完成し、寺地の取水場や小新の砂溜池は役目を終えました。明治・大正・昭和と長年にわたり、新潟市の上水道の歴史にこれらは大いに貢献してきたことになりました。



▶小新にあった砂溜池



▶寺地にあった取水場
写真は「新潟市水道100年誌」から

西区自治協議会 第6期がスタート!

4月28日、第1回西区自治協議会が開催されました。オリエンテーションでは、事務局から新任委員向けの研修が行われました。
 自治協議会では、今期の正副会長を選出したほか、部会の構成が決まるなど新体制でのスタートを切りました。

西区自治協議会委員名簿

平成29年7月現在
 ◎…会長 ○…副会長 ◆…部会長 ◇…副部会長
 PT1…プロジェクトチーム1 PT2…プロジェクトチーム2

氏名	所属等	部会
田村 信雄	内野・五十嵐まちづくり協議会 会長	1
寺瀬 千恵	西内野コミュニティ協議会 副会長	◇1、PT1
小林邦太郎	コミュニティ中野小屋 副会長	3
高島 圭介	コミュニティ佐潟 副会長	1
小林 勉	坂井輪中学校区まちづくり協議会 副会長	1
○下川 照雄	坂井輪小・小新中学校区 まちづくり協議会 会長	1
風間 一夫	東青山小学校区コミュニティ協議会 会長	◇2、PT2
沢田 富夫	五十嵐小学校区コミュニティ協議会 副会長	1
佐藤 昭	真砂小学校区コミュニティ協議会 会長	1
田中 米三	青山小学校区コミュニティ協議会 総務部会長	2、PT2
◎岩脇 正之	小針小学校区コミュニティ協議会 会長	3
大谷 一男	黒崎南ふれあい協議会 会長	◇1、PT1
浅妻 茂行	大野校区ふれあい協議会 副会長	◇3、PT2
○渡辺美弥子	立仏校区ふれあい協議会 副会長	2、PT1
藤橋 雅廣	山田校区ふれあい協議会 会長	3
中原 勝芳	佐潟と歩む赤塚の会 会員	3
五十嵐加代子	子育て応援サポートセンター うん♥まんま 代表	2、PT1
藤丸 圭子	西区民生委員児童委員会連絡会 幹事	2
木村 優子	西区社会福祉協議会 副会長	2
永吉 秀司	新潟大学 教育学部 芸術環境講座 准教授	3、◇PT2
嘉藤 稜子	新潟大学大学院 教育学研究科 学生	3、PT2
藤田 美幸	新潟国際情報大学 情報化学部 准教授	3
小林 直起	新潟国際情報大学 情報化学部 学生	3、PT1
近藤 純子	西区PTA連絡協議会 会員	2
古俣 民	西区老人クラブ連合会 理事	1
塩川 英男	新潟西商工会 会長	◇3
加野麻理子	西区支え合いのしくみづくり会議 推進員	2
渡邊 正友	元専門学校副校長	1、◇PT2
鍋谷 總子	元小学校長	2、◇PT1
高橋 伸絵	防災士	1
郷 扶二子	地域教育コーディネーター	◇2
坂井 修	公募委員	3
佐野 恭子	公募委員	2、◇PT1・2
三富 正典	公募委員	1、PT1
山川 豊子	JA新潟みらい 赤塚支店 女性部 部長	3
高橋由紀子	新潟市スポーツ推進委員連盟 西区協議会 会長	2

第6期西区自治協議会の会長に再任されました、小針小学校区コミュニティ協議会会長の岩脇正之です。区自治協議会は、区民と行政との協働による住民自治を進め「安心・安全」で豊かで住みやすい地域づくりを目指し色々な地域課題の解決に向けて審議しています。新潟市も政令市移行十周年の節目を迎えました。同じく区自治協議会が設立され10年が経ちましたが、時代の流れが速く多様化する地域課題に対応するため、各分野に専門部会を設け、防災、防犯、高齢化問題、子育て、公共交通、街づくりなどの課題に36名の委員が協議しながら活動しています。今期も区自治協議会にご理解とご協力をお願い申し上げます。

会長あーちゃん 岩脇 正之

お知らせ H29年度西区自治協議会提案事業 西区自治協議会発足10周年記念 講演会

会場 黒崎市民会館 ホール
 定員 300名
 参加料 無料

～森田正光氏講演会～
日時 平成29年9月17日(日) 午後1時30分～午後3時(開場午後1時)
講師 気象予報士、(株)ウェザーマップ代表取締役 森田 正光氏
テーマ (仮)「気象情報等を交えた防災」

～三流亭楽々氏・国井雅比古氏講演会～
日時 平成29年9月18日(月・祝) 午後1時30分～午後4時(開場午後1時)
第1部 午後1時30分～午後2時30分
講師 新潟県特殊詐欺被害防止お笑い広報大使 三流亭楽々氏
テーマ (仮)「笑って楽しく防犯落語」
第2部 午後2時45分～午後4時
講師 日本トレッキング協会会長、元NHKエグゼクティブアナウンサー 国井 雅比古氏
テーマ (仮)「幸齢いきいき講演会 ～生きがいと健康づくり～」

お申込み方法など詳細は、8月頃にホームページ、チラシ、西区だより等でご案内いたします。



森田 正光氏



国井 雅比古氏



・タイトル 板井の釈迦堂に架かる虹
 ・氏名 小林 博さん

募集しています

広報紙や自治協議会活動についての「意見」
 ◆住所・氏名・連絡先をお書き添えの上、広報紙1面の「事務局」あてに郵送または電子メールにて送付ください。
 とっておきの私一枚
 ◆あなたの「自慢の写真」(家族・ペット・風景・イベント等)に住所・氏名(氏名必須、ペンネームがあればペンネーム掲載)・連絡先・写真タイトル・一言コメントを添えてご応募ください。(電子メール可) ◆採用者には千円のお書カードを贈呈。◆応募写真は返却しません。◆締め切り8月末日(次号掲載予定)。
 ◆送付先/広報紙1面の「事務局」あて。

編集後記

今年度、最初の号をお届けいたします。このたび、編集委員の半数が新メンバーになりました。新しい感覚を盛り込んだ編集で、一層読んでいただける広報にしていきたいと思っております。昨年度は多くの方々から建設的なご意見を寄せていただき、大変励みになりました。今年度も温かく率直な感想で背中を押してくださいようお願いいたします。(鍋谷 總子)

QRコード
 パソコン・スマートフォンでもご覧になれます！
 Web版西区を豊かに (西区役所ホームページ内)

部会構成

通常部会	第1部会 防犯、防災、自然環境、住環境	第2部会 保健福祉、文化、教育	第3部会 農林水産業、商工業、交通
	特別部会		プロジェクトチーム2 西区アートフェスティバルの企画・実施



西区自治協議会

10周年記念特集

協働のまちづくり10年を振り返って

区自治協議会は、市民と行政との協働によって、住民の自治の推進を図るために、政令市移行の平成19年4月1日にスタートしました。西区自治協議会では先輩の委員たちが、私たちの住む西区に関心を持ち、西区を好きになり、西区を誇りに思って、さまざまな議論を交わし、さまざまな課題を解決してきました。

本号は、事業化された主な取組みを中心に西区自治協議会発足10周年を迎えた協働のまちづくりの軌跡をたどります。



第1期 (平成19～20年度)

- ・環境スクール開催事業の事業化と西区一斉クリーンデーの検討
- ・区民の健康づくり推進事業の事業化
- ・農業活性化のための座談会開催
- ・飛砂対策・海岸松林の保全方策検討のプロジェクトチームの発足
- ・西区区ビジョンまちづくり計画 (H20～26) の検討



第2期 (平成21～22年度)

- ・西区一斉クリーンデーの企画実施
- ・「もったいない推進事業」の事業化
- ・「放課後児童クラブの整備充実についての要望書」提出
- ・農業まつりでのB級品野菜販売とアンケートの企画実施
- ・飛砂対策・海岸松林の保全検討と森林ボランティア育成
- ・「西区役所庁舎の整備に関する要望書」提出
- ・JR越後線増便に係る要望書提出



市長へJR越後線増便に係る要望書提出

第3期 (平成23～24年度)

- ・地域防災に関するアンケート調査、取りまとめ
- ・「区民との協働による除雪対策推進に向けた要望書」提出
- ・「佐潟湖水再生の取り組みに関する要望書」提出
- ・西区における観光ルートの検証
- ・自治協議会広報紙「西区を豊かに」の創刊
- ・新庁舎整備等に向けた先達市訪問調査や協議



平成26年1月14日 西区役所新庁舎開庁式

第4期 (平成25～26年度)

- ・意識向上を図るための「防災講演会」の開催
- ・自治会長研修会の開催
- ・いじめ根絶の講演会、ワークショップの開催
- ・高齢化・介護をテーマとした講演会の開催
- ・西区生活交通改善プランの策定検討
- ・佐潟クリーンアップ活動『潟普請』の参画
- ・西区アートフェスティバル開催、テーマ「音楽の力、西区の宝」
- ・「地域コミュニティ協議会への財政支援について」要望書提出



第5期 (平成27～28年度)

- ・小中学校における「防災に関する公開授業」の開催
- ・区内の犯罪状況の把握と西警察署との意見交換
- ・認知症と地域包括ケアをテーマとした講演会の開催
- ・スポーツ鬼ごっこの普及啓発
- ・区の魅力を盛り込んだ「西区ふれあいカレンダー」の作成・配布
- ・商店街等の活性化研究・実践事業
- ・西区アートフェスティバル開催、アート作品の展示、テーマ「区民の力、地域の宝」



新区長

笠原明夢さんへのインタビュー

4月に就任した区長に、大谷一男委員と渡辺美弥子委員がインタビューを行いました。



- 1 明夢さんとは珍しいお名前ですね。**
名前は父親が付けてくれました。20歳位までは、自分以外に名前に「夢」がつく方とお会いしたことがない位珍しい名前だと思いますが、私自身も気に入っています。同級生も私の顔を忘れても名前だけは憶えていてくれますから。妹の名前も「土筆(つくし)」で、父親は変わった名前を付けるのが好きだったのでしょね。
- 2 尊敬する人とモットーは。**
尊敬する人は「母親」です。著名な方を挙げればいいのですが、やはり「母親」です。母子家庭で育ったもので、私と妹がここまでやってこられた

のも、母親の愛情があつてのことと感謝しています。これまで悩みなどにも適切にアドバイスしてくれ、母親であると同時に偉大な父親でもあります。モットーは「常に明るく元気に」です。名前のとおりですが、同じ一生なら明るく過ごした方が楽しいですよ。

- 3 西区長に就任する前の職場は。**
国家戦略特区と食文化の担当部長でした。国家戦略特区はアベノミクスの三本の矢のひとつ「成長戦略」の柱のひとつで、新潟市は平成26年5月に全国で6都市・地域が第一次指定されたひとつです。新潟市は農業分野を中心とした規制緩和を活用して、地域経

済を活性化してきたもので、ローソンをはじめとした企業の農業参入や農業者の農家レストラン経営など、現在は成果が形となって現れています。企業だけでなく地元の農業者にメリットが生まれるように心がけてきました。

- 4 西区をどのようなまちにしたいですか。**
区民の方が「安心・安全で住んでいて良かった！これからも住み続けたい！多くの方に住んでもらいたい！」と自慢できる区をつくり上げることです。現在は区民の健康寿命の延伸、地域包括ケアシステムの構築、農業・産業の活性化、飛砂対策など様々な課題があります。政令市・区制移行から10周

年を迎え、今年度から新たな10年のスタートとなります。今は行政だけで施策を進めるには限界があり、コミ協をはじめ、区民の皆さまとの協働が何よりも大切な時代です。そのためには、市の施策を丁寧に説明して理解してもらい、区民の信頼を得ることが必要です。「協働の要」の役割を持つ自治協と区役所が一体となって自慢できる西区をつくっていきたいと思います。西区自治協議会は8区の中で最も活動が活発であると感じています。これまで以上に連携をよろしく願います。ぜひ皆で自慢できる西区にしましょう。



インタビューを終えて

会話ははずみ、お陰様で多岐に亘ってお伺いすることができました。紙面の関係で多くを載せることはできませんが、笑顔の素晴らしい気さくなお人柄の区長さんでした。